

6

吊足場

1. クイックデッキ	84
2. セーフティSKパネル	90

1. クイックデッキ

NETIS登録番号：TH-150007-A



快適な作業空間を提供する 革新的吊り足場

ハイスペック フロアーソリューション

Quik Deck

クイックデッキ

特 徴

●簡易な組立

基本構成部材は全てシステム化されており専用工具を必要とせず人力で組み立て可能

●高いシステム強度

トラス構造により高い強度と軽量化を実現したジョイスト（主梁）と専用の高強度チェーンの組み合わせにより最大積載荷重350kg/m²、最大吊チェーンピッチ5m×5mを実現

●多彩なオプションで様々な施工障害をクリア

ジョイスト（主梁）の様々な箇所からチェーンでの吊り下げが可能なので吊元に制約される事もなく構造物の限定された吊元からも吊り下げが可能。足場内の障害物も床材のオプションパーツにより開口、段差のない作業床を提供できる

●ユニット吊り込みにより高所作業を激減

最大12.5m×7.5mの床ユニットを4点で吊り上げ可能。同様に組み上げた床ユニットを立て吊りにして落とし込みが可能。地上での地組み作業を最大限にすることにより高所作業を最小限にし安全性を向上させながら工期の短縮が図れる

●困難な足場架設を安全にスピーディーに

高い部材剛性と水平旋回式の組立方法により吊点からの跳ね出し最大5mの先行床施工で作業床を高所での危険作業なしで安全に施工可能

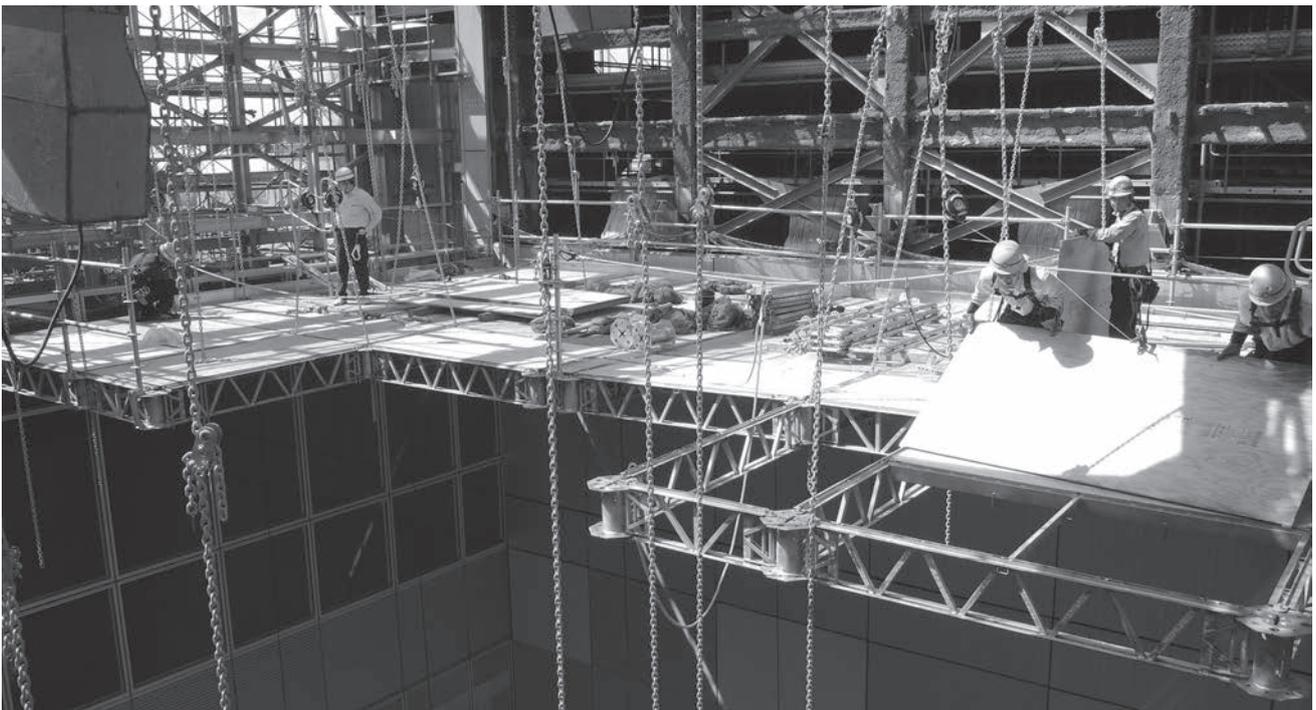
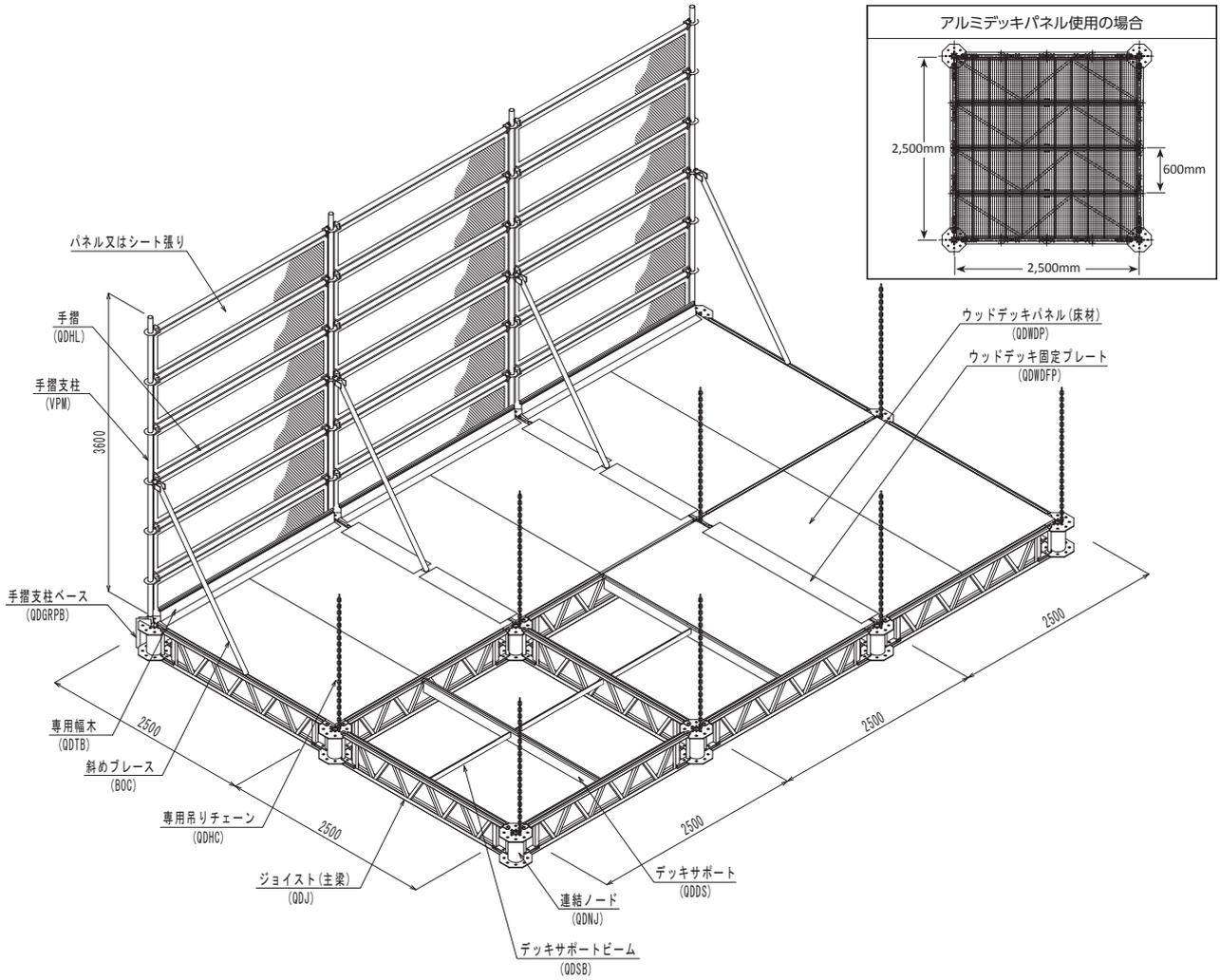
●快適な作業空間の提供

広い吊りチェーン間隔とたわみが少なく段差や開口の無い快適な作業空間を提供



1-1. クイックデッキの構成

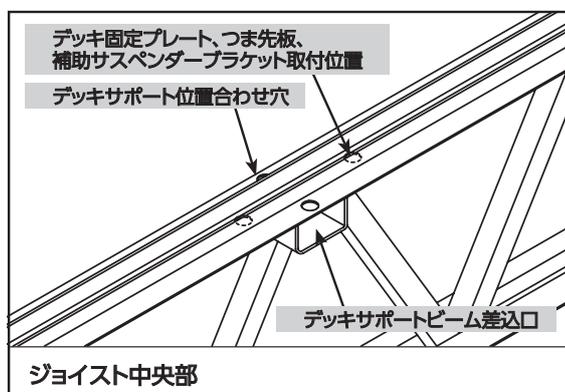
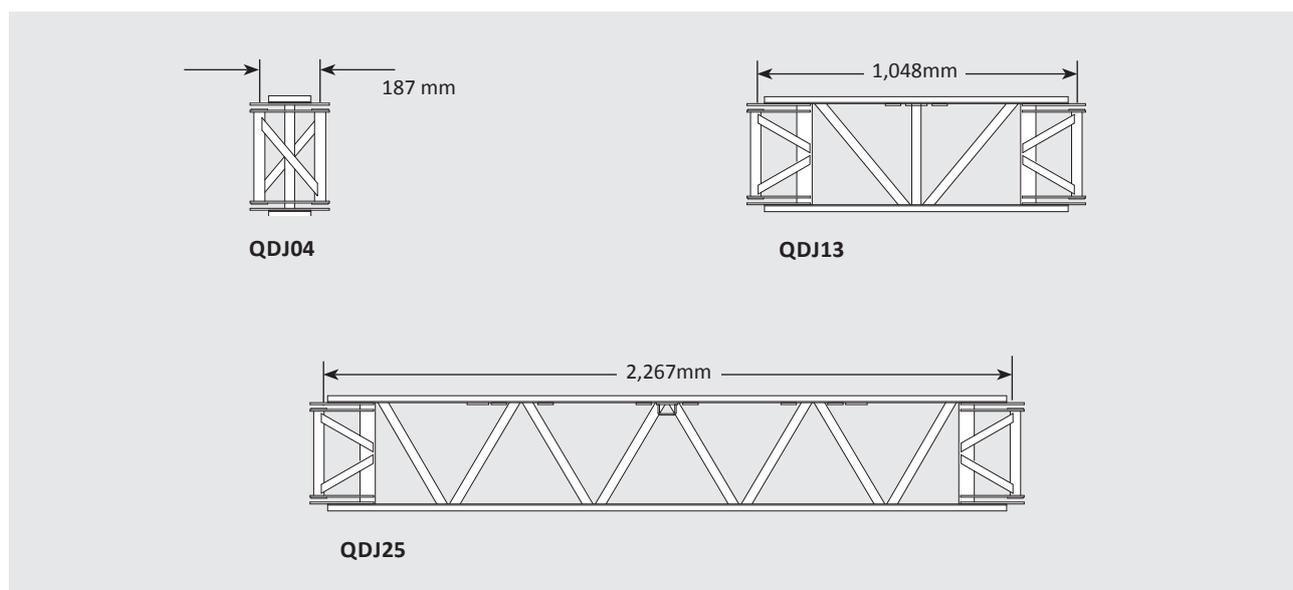
■ 構成図



1-2. 構成部品

■ ジョイスト

商品コード	品名	長さ	重量
QDJ04J	QDジョイスト	187mm	5.9kg
QDJ13J	QDジョイスト	1,048mm	20.0kg
QDJ25J	QDジョイスト	2,267mm	31.1kg



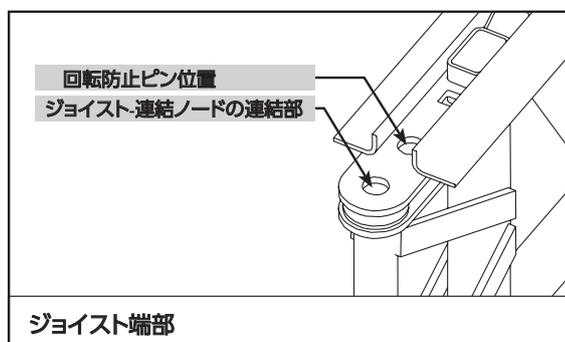
ジョイストはQuikDeck™の第一の構造構成部品です。ジョイストは連結ノードと連結して、デッキサポートおよびデッキ材のための格子を形成します。

デッキ固定プレート、つま先板取付位置は、8箇所あり、補助サスペンダーブラケットの取付は3箇所取付する事ができます。

回転防止ピンにより、クイックデッキの設置作業中ジョイストの回転を制限します。

ジョイスト - 連結ノードの連結部には、パイプ状の接続端部があり、ジョイストを補強、連結ノードピン差込口、そして組み立て中にはジョイスト、連結ノードを結合します。

サポートビーム差込口は、サポートビームのための構造連結箇所であり、その他の用途には使用しないでください。



■デッキサポート

商品コード	品名	長さ	重量
QDDSO1J	ピン付きデッキサポート	2,450mm	22.2kg
QDDSO2J	ピン無しデッキサポート	2,450mm	22.2kg
QDSB	デッキサポートビーム	1,184mm	3.6kg

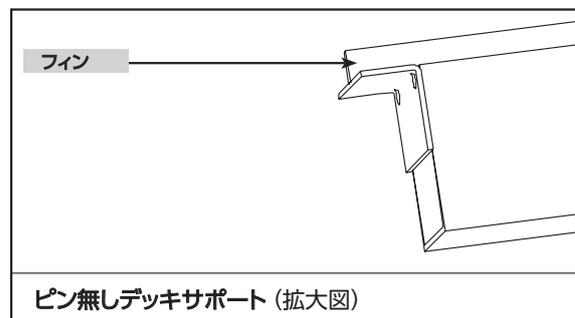
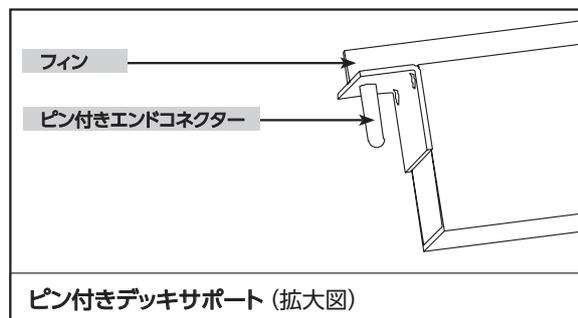
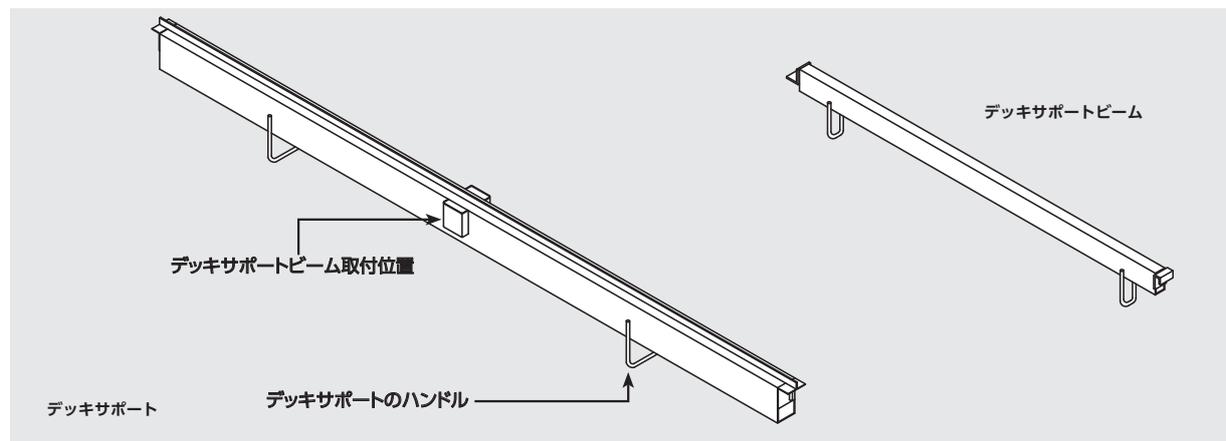
デッキサポートは、(2.4m x 2.4m)の格子にかけ、(1.2m x 2.4m)の区画を2つ形成し、ウッドデッキパネル、またはアルミデッキパネルを受けるようにします。

※ピン無しデッキサポート

ピン無しデッキサポートは、エンドコネクターが差し込める3箇所以外の位置に、任意で変える事ができます。

※デッキサポートビーム

ジョイスト、デッキサポートに付属されている取付位置に固定します。



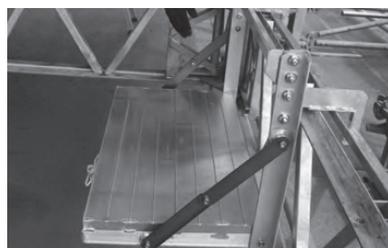
フィン は、パネルを設置時に位置を合わせます。(ウッドデッキパネル、アルミデッキパネル)

ピン付きエンドコネクターが、ジョイストに対する確かな位置合わせと保持を確保します。

チビック (簡易組立用足場)



デッキサポートを高所で取付ける際に使用する折りたたみ式簡易足場です。



商品コード	重量
QDTIV	6.0kg

■ 連結ノード

商品コード	品名	高さ	径	重量
QDNJ	連結ノード (黒)	314mm		12.2kg
QDNPJ	ノードピン	405mm	19mm	0.9kg

連結ノードはジョイストを連結し、また、吊りチェーンの接続箇所となります。連結ノードには、ジョイストを連結するための8つの穴が、45°ごとに放射状に設けられています。

▲ 警告

チェーンを正しいチェーンスロットに差し入れるのを怠ると、サスペンダーの障害を引き起こし、事故につながる可能性があります。

4位置チェーンスロット
チェーン固定用スロット

連結ノードジョイスト連結

連結ノードハンドル

回転防止溝

連結ノード

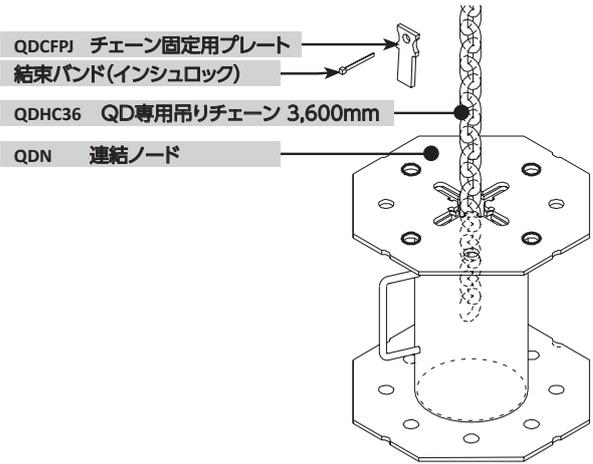
上側ロールピン

下側ロールピン

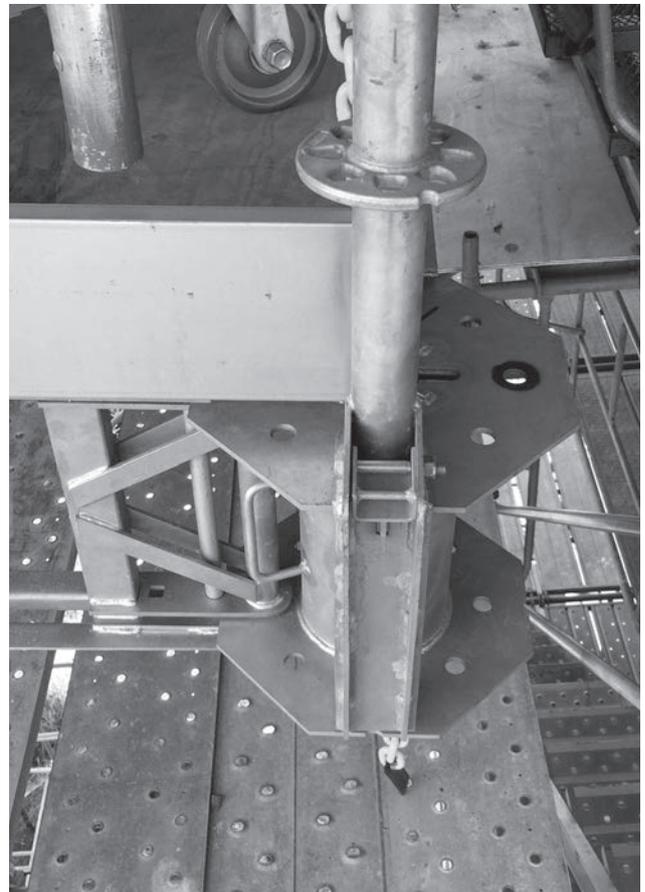
止めピン穴

先細端部

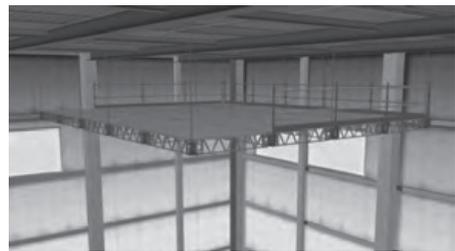
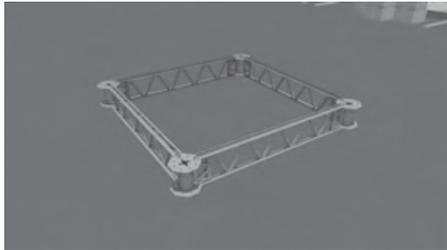
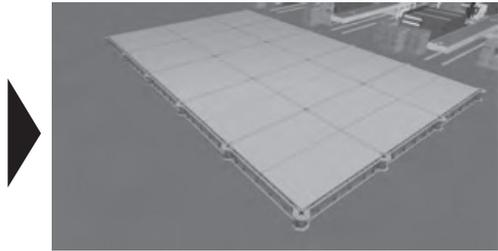
連結ノードピン



QD専用吊りチェーン3,600mmを連結ノードに結合



1-3. 組立工程



右上へ

2. セーフティSKパネル(パネル式吊り足場)

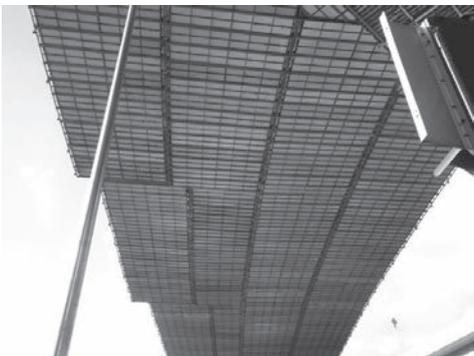
NETIS登録番号：KT-100070-V

セーフティSKパネル

安全・スピーディな架設
そして解体作業を実現

より便利に、安全に、そしてより経済的に!

■セーフティSKパネルとは



セーフティSKパネルは、パネル型の作業床をチェーンで吊り、連結して行くと吊り足場が完成する、極めてシンプルな新しい吊り足場工法です。

セーフティSKパネルは、パネル一枚一枚が作業床として完成されているため、セーフティSKパネルとチェーン、それと少々のかんづめがあれば、吊り足場を組み立てることができます。また、作業はチェーンをかけ、パネルを連結するだけ。一連の作業は全てパネルの上で行えますので、どんな困難な状況でも安全に簡単に吊り足場を組むことができます。

■セーフティSKパネル工法の特徴

1) 安全性

従来の吊り足場は「チェーンをかける」「親パイプを流す」などの危険な作業を終え、最後に落下防止ネットを張り、初めて安全が確保される工法でした。セーフティSKパネルは、それ自体が完成された足場ですので、全ての作業が足場の上で行なうことができ、安全が常に確保できます。

2) 工期短縮

作業能率の向上

セーフティSKパネルは、その構造から架設作業員が常に完成された足場の上で次の仕事ができるという「安全性」があるため、経験が豊かで高度な技術を持つ者だけしか戦力にならなかったものが、この工法では全員がのびのびと仕事ができるので、能率もグンと高まります。

段取り、片付け時の煩雑さを解消

セーフティSKパネル工法では、使用するものはスタートパネル専用ブラケットとチェーン、SKパネル、連結用のかんづめだけ。しかもSKパネルは形状も均一ですので、片付けやトラックへの積み込みも非常に簡単、短時間で済みます。

3) 高所作業車の節約

セーフティSKパネル工法では、親パイプやコロバシパイプがないので、高所作業車の使用頻度が大幅に減少します。これまで、高所作業車に頼っていた作業も、全て足場の上で行なえますので、下にスペースのない現場でも、ウィンチ等があればOKです。

4) 交通規制の短縮と簡素化

道路や橋梁等で交通規制が必要となる場合、従来の工法では安全ネットを張り、足場板を敷くまでは交通規制が必要でしたが、セーフティSKパネル工法ではパネルの取付けを完了した部分から随時、規制を解除することができ、規制時間も大幅に簡素化できます。

5) 作業騒音の解消

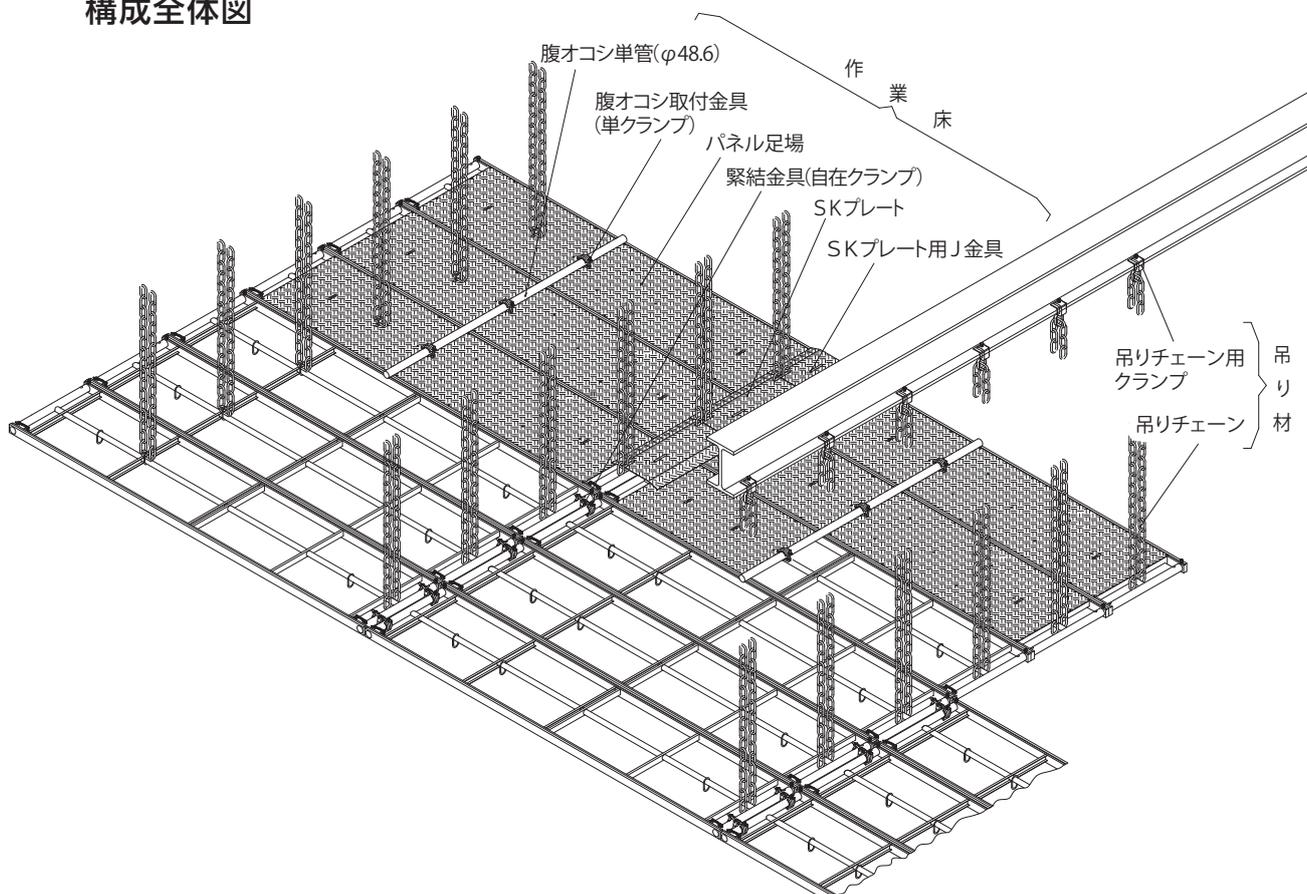
セーフティSKパネルは、その構造により単管のような金属音が発生しません。また、床面が一体の構造になっているため、これまで足場板を敷く際に発生した大きな騒音もありません。さらに、高所作業車の使用回数も少ないため、作業車による騒音も減少、都市部で問題となる夜間作業の騒音問題も、このセーフティSKパネルで解消です。

6) 優れた美観

セーフティSKパネルは、これまでの足場のイメージを一新した非常に美観に優れた吊り足場です。現場周辺の景観を害さず、美しく街に映える新時代の吊り足場です。

■セーフティSKパネルの構成

構成全体図



■セーフティSKパネル工法

- ① 吊りチェーンをかける
- ② セーフティSKパネルを取り付ける…以下①②の繰り返し

従来の工法

- ①吊りチェーンをかける→②親パイプを流す→③コロバシパイプを取り付ける→
④足場板を敷く→⑤安全ネットを張る



1枚目のSKパネルから2枚目のSKパネル用に、前方約30cm位の所に各主桁下フランジ部に1カ所ずつ計2本のチェーンを取り付けます。取り付けたチェーンに2枚目のパネルを取り付けます。



パネルを前方に押し出し、パネルの凹穴に1枚目の「直線・両用連結ジョイント」を差し込みます。次に「脱落防止ピン」を差し込み、「ジョイント固定ボルト」を締め付けます。

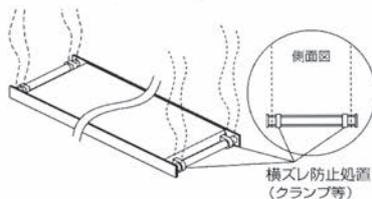


以後、繰り返しによって順次設置していきます。



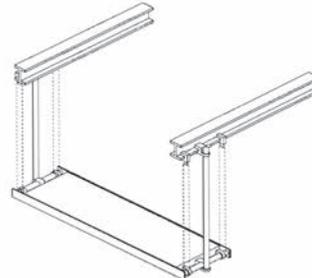
2列目(横断方向)を設置する場合、順次1列目と2列目のパネルを自在クランプで連結します。また、1列目と2列目のパネルとの隙間(チェーン回り)をSKプレートで防護します。

① 1列目 1枚目のSKパネルを取り付ける



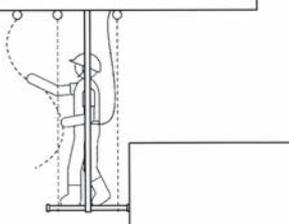
橋脚上から(または昇降設備がある場合はその最上段から)主桁等の吊りポイントに4本のチェーンクランプを設置し、チェーンを取り付けます。吊りポイントに取り付けられた4本のチェーンを1枚目のSKパネルの親フレーム両端内側にかけ、クランプ等で横ズレ防止処置を行います。

② 1枚目のSKパネルをおろし、フレ止め処置を行う



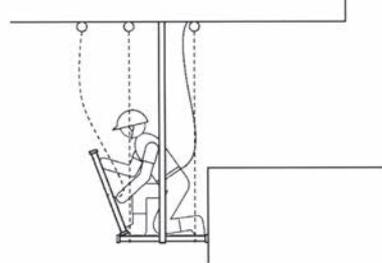
①の処置を行った1枚目のSKパネルを、静かに設置ポイントまでおろし、単管、クランプ等でフレ止め処置を行い、支持構造物と固定してください。

③ 1枚目のSKパネルの上から2枚目のSKパネルのチェーンをかける



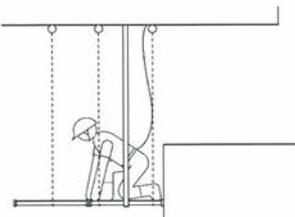
1枚目のSKパネルの上から前方約30cm位の所に各主桁下フランジ部に左右1ヶ所ずつ、合計2本のチェーンを取り付けます。

④ チェーンを2枚目のSKパネルに取り付ける



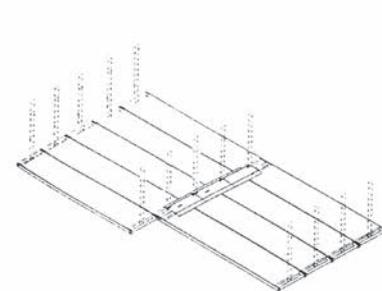
③で取り付けたチェーンを1枚目のパネル上で2枚目のパネルに取り付けます。

⑤ 2枚目のSKパネルを1枚目のSKパネルに接続する



接続は2枚目のSKパネルの凹穴を1枚目のSKパネルの「直線・両用連結ジョイント」に差し込みます。次に「脱落防止ピン」を差し込み、「ジョイント固定ボルト」を締めつければ完了です。以上の作業はすべてSKパネルの上で行われ、作業員が身を乗り出すなどの危険はありません。

⑥ チェーンの回りのすき間を保護する



チェーンの回りのすき間をSKプレートで防護します。